

非暴力平和隊・日本(NPJ) ニュースレター

第74号

2020年2月20日発行

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-21-7 静和ビル 1階 A 室
スペース御茶ノ水気付 非暴力平和隊・日本

Tel: 080-6747-4157 E-mail: office@np-japan.org

Website: <http://np-japan.org/>

Nonviolent Peaceforce Japan Newsletter

- ・【巻頭言】緊急署名スタート 理事・事務局長 安藤 博 2
- ・いま新たに改憲発議に反対する全国緊急署名を開始します
戦争させない・9条壊すな！
総がかり行動実行委員会
安倍9条改憲NO！全国市民アクション 4
- ・非暴力トレーニングワークショップに参加して 理事 大橋 祐治 6
- ・沖縄報告 共同代表 大畑 豊 8
- ・刑特法違反容疑での逮捕について 共同代表 大畑 豊 10



【AU（アフリカ連合）が支援する非武装市民平和活動家たち】

緊急署名スタート

理事・事務局長 安藤博

【緊急署名】

憲法 9 条を守るための〈3000 万署名〉は昨 2019 年末で締め切られ、年明けから新たに〈改憲発議に反対する全国緊急署名〉が始まりました。「必ずや私の手で成し遂げていきたい」と安倍首相が執念を燃やす憲法 9 条改憲を阻止するため、その任期の 2021 年 9 月までを一応の目処として、この署名集めに力を入れていきます。2 月 6 日、東京・王子の〈北とぴあ〉で開催された「STOP 改憲発議！新署名スタート！」集会で、高田健/〈戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会〉代表が新たな署名活動のスタートを力強く宣しました。



新たに発足した〈緊急署名〉は、「憲法 9 条を変えないで下さい」と訴えてきた〈3000 万署名〉より一歩踏み込んで、「改憲発議を阻止する」ことをはっきり謳っています。国会内では、勝負がついているというべき現状をみて、国会の外で改憲発議が出来ない政治環境を作っていくことを目指しています。署名活動を通じて安倍改憲

の危うさを無関心層を含めて広く訴え、「自衛隊を憲法に書き込んで合憲化する」という安倍改憲提案が否決される恐れがあるというところまで世論をうごかしていくのです。

【改憲発議をさせない】

「緊急署名」を呼び掛けた〈総がかり行動実行委員会〉は、新たな取り組みを要旨次のように説明しています（別項「新署名アピール」参照）。

「安倍首相は、自らの自民党総裁任期の 2021 年 9 月までに改憲を実現するという。この改憲スケジュールからみて、この期間に解散総選挙が行われる可能性が強い。

2017 年秋以来、安倍首相による 9 条改憲を阻止するため、広範で多様な人々を結集して『安倍 9 条改憲 NO！全国市民アクション』が結成され、3000 万人を目標にした 9 条改憲に反対する一大署名運動が展開された。これが全国の草の根に強固な改憲反対の世論をつくり出し、立憲野党を励まし、国会の憲法審査会での自民党改憲案などの審議を実質的に阻止し、2 年余りにわたって安倍 9 条改憲の発議を阻止し続けてきた。そして先の参議院選挙で、改憲勢力 3 分の 2 割れを勝ち取った原動力であったことは明確である。

この重大な時期に正念場に当たり、従来取り組んできた署名にかえあらためて『安倍 9 条改憲反対！改憲発議に反対する全国緊急署名』運動への取り組みを呼びかける。この 2 年にわたった粘り強い草の根の市

民の努力を再始動させ、もういちど行動の力に変えよう。」

【“二番煎じ “の声も】

『新しい署名活動』と言っても、所詮二番煎じではないかと、＜緊急署名＞に消極の声があるのも事実です。＜3000 万署名＞の集計にダブルカウントのミスがあったことについて、全国アクションと総がかり実行委員会は 2019 年 9 月 4 日の「総括と基本的取り組み」のなかで「お詫び」を述べています。しかし、こうしたミスへの対処の仕方を含めて＜3000 万署名＞に飽き足りない思いが残っていることは否めません。わたくしの居住地、千葉県市川市の〈戦争をさせない 1000 人委員会〉は、2 月 12 日の世話人会議で新しい署名には従わず＜3000 万署名＞の継続を申し合わせています。

目いっぱい署名集めの努力をしてきたような人たちにとっては、新しい署名願いの相手はもうなくて、結局＜3000 万署名＞をお願いしたのと同じ相手に同じ趣旨の署名を求める以外にはありません。なかなかつらいことでしょう。

【ぼーっとしてはいられない】

気をつけねばならないのは、新型コロナウイルス、東京オリンピック/パラリンピックに気を取られているうちに、安倍改憲案が衆・参の憲法審査会にかけられてしまうことです。ぼーっとしているわけにはいきません。

安倍首相は、2019 年 7 月の参院選で街頭

演説のたびに、「議論を前に進める政党を選ぶのか、それとも議論すら拒否する政党を選ぶのか。今回の参院選はそれを問う選挙だ」と繰り返しました。改憲発議に必要な三分の二多数を失った参院選でしたが、「改憲議論を行うべきだという審判を受けた」と言い募っています。

「議論」は誰にも反対し難い巧妙な論法です。議論とはつまり、憲法審査会の審議を進めることです。野党側にも「正々堂々議論を」と、護憲的改憲を言ったりする議員もいます。これが安倍政権の頼みでしょう。ひとたび憲法審査会の土俵に引き込んでしまえば、あとは強行採決で改憲発議の本会議に持ちこみます。改憲議論の“蟻地獄”です。

【野党連携の後押しも】

モリカケ疑惑に続き、「桜を見る会私物化」で安倍政権は窮地にたち、改憲への動きも頓挫しているかにみえます。共同通信社が 2 月 15、16 両日に実施した全国電話世論調査によると、安倍内閣の支持率は 41・0%で、1 月の前回調査から 8・3 ポイント下落。不支持率は前回から 9・4 ポイント増え、46・1%でした。「桜を見る会」の疑惑に加え、黒川弘務・東京高検検事長の定年を半年間延長した政略的検察庁人事、野党議員への野次といった首相の国会対応が原因になっているでしょう。

とはいえ安倍政権はいやになるほど強いのです。「大きく下がった」という支持率も、かつての佐藤政権などを上回っています。その強さはとりもなおさず、少数分立

とするにちがひありません。

事態は緊急です。

いまこそ、安倍改憲に反対するすべての人々は共同し、全国の草の根から運動をおこし、世論を盛り上げ、総選挙に際しては安倍改憲に反対する野党と連携して改憲派を徹底的に孤立させる必要があります。

9条をはじめとする自民党の4項目改憲案は絶対に阻止しなくてはなりません。それは日本を米国との同盟の下で「海外で戦争をする国」にするための改憲です。2020年の防衛省予算案は5兆3千億円を超え、過去最大となりました。

自民党9条改憲案は、「必要な自衛の措置」として「戦争する国」にむけ集団的自衛権の全面行使をも可能とするものです。すでに「防衛大綱」などによって9条の空洞化が進んでいますが、この動きを止めなくてはなりません。緊急事態条項導入案は、軍事的な緊急事態に内閣の権限を拡大し、人権の大幅な制約を可能にする危険性があります。大地震などの自然災害の対応についてはすでに十分な法律が整備されており、憲法に置く必要性はありません。さらに、合区に関する問題の解決は公職選挙法等の改正で可能であり、自民党の改憲案は投票価値の平等を侵害するなどの危険性があります。教育の充実に関する改憲案は、教育が「国の未来を切り拓く上で極めて重要な役割を担う」として教育への国家介入を正当化する危険があります。教育の充実は国会と内閣がその気になれば、法律や予算措置で可能です

自民党の4項目改憲案は、いずれも改憲

の必要性・合理性を欠くうえに、日本国憲法の基本原理である平和主義、主権在民、基本的人権の尊重を破壊するものです。

2017年秋以来、安倍首相による9条改憲を阻止するため、広範で多様な人々を結集して「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」が結成され、3000万人を目標にした9条改憲に反対する一大署名運動（安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名）が展開されました。この運動は約2年間にわたる全国の津々浦々での大きな取り組みとなりました。構成している労働団体は組合員、家族、地域署名を、市民団体や地域の諸団体は、それぞれの形態・やり方で、あるいは自治体・地域ごとに獲得目標を決め、戸別訪問にも取り組みました。すでに住民の8割の署名を集めた地域もあります。さらに多くの団体により、街頭・駅頭で宣伝活動と合わせた定期的な署名運動が取り组まれました。全国に署名運動が広がり、対話が進むことによって、「安倍改憲反対」「9条を守れ」の声が市民に確実に届き、組織や地域に広がり、世論を大きく変えてきました。この署名運動に、多くの仲間の皆さんが参加し、すでに1000万筆に迫る署名を集めたこと、これが全国の草の根に強固な改憲反対の世論をつくり出し、立憲野党を励まし、国会の憲法審査会での自民党改憲案などの審議を実質的に阻止し、2年余りにわたって安倍9条改憲の発議を阻止し続けてきました。そして先の参議院選挙で、改憲勢力3分の2割れを勝ち取った原動力であったことは明確であり、3000万署名運動の成

に、「…自分の暴力性に気付き、自己改革を通じて社会変革を目指すもの…」の言葉が目にとまり、そうか、まず自分が変わらなければと普段何気なく受け止めていた言葉にはっと気づかされました（日頃、聖書に親しんでいるはずのキリスト者としての懺悔です）。

いろいろなプログラムが分刻み、秒刻みで進行していくのになかなかついていけないことが多かったのですが（特に自分は聴力に問題があり聞き取れないことが多かった）、テーマを与えられて3、4人の小グループでの話合いの場は大変新鮮でした。自分を率直にさらけ出すことが少しも苦になりませんでした（と言ってもやはりオブラートに包む部分は排除できませんでしたが）。過去にいじめられた経験（抑圧された）、成功したこと、将来の目標などをそれぞれ1～3分で話します。1～3分はあっという間なので、集中力を研ぎ澄まし、相手の話に熱心に耳を傾け、相手の立場を理解しようと努力します。

また、このワークショップはダイバーシティ（多様性）の重要性を身近に体験させる場であったと思います。キリスト教の信徒が多かったと思いますが、カトリック信徒もプロテスタントの各派の信徒たち、そして入学したばかりの大学生、就職が決まった大学生、働き盛りの若者や壮年、現役を引退してなお社会に役立ちたい思いの高齢者など本当にさまざまな人々との心を開いた交流の経験をさせて頂きました。チャックさんは留学の経験から日本語をほどほどに理解されますが、やはり通訳

が必要でした。そして、英語ができる人が入れ替わり立ち替わり通訳を務めました。終わった後でしみじみと良いワークショップであったなと振り返っています。平和を愛し、非暴力こそ真の平和をもたらすものであることの確信のもとに日々活動されている心強い同志に大いに励まされました。

会場で頂いた資料の中に十数頁の「非暴力実践の手引き」と表紙に書かれた手帳サイズの小冊子がありました。帰宅して小冊子をめくってみると、最後に1972年7月、石谷行と書かれていました。私は会社を定年退職した時に大学の同級生（現在、非暴力平和隊・日本の監事をされています）に誘われて非暴力平和隊・日本に発足当初から参加しましたが、彼に勧められて購入した石谷行氏の追悼集「平和づくりを使命として」に大いに感銘を受け、非暴力平和活動の末端に加えられたことを誇りに思ったものでした。



【ワークショップの一場面】

また、大変お恥ずかしい次第ですが、今回のワークショップに参加して初めて、友会（クエーカー）と友和会（FOR：Fellowship of Reconciliation）の区別を知ることができました。

沖縄報告

共同代表 大畑豊

2013年に仲井真・元知事が埋立て承認をしてから6年が経ちました。防衛局の当初の説明では、5年で護岸工事・埋立工事が終了となっていました。6年経った現在でもまだ全体の1%程度しか土砂が投入されていません。



【安和棧橋内で運搬船に土砂を運ぶダンブが見える】

また2018年12月に土砂投入を開始した区域は約1か月で埋め立てが終わる予定でしたが、1年経った現在でもまだ7割しか進んでいません。このペースで作業が進めば、全ての土砂投入を終えるまでに、60年ほどかかる計算になります。政府は辺野古が唯一の解決策、普天間の危険除去と繰り返しますが、60年も危険性を放置するつもりなのでしょうか。これが「解決策」と言えるのでしょうか。



【安和棧橋での抗議行動】

工期1.5倍、工費2.7倍に

沖縄防衛局は去年12月25日、辺野古新基地の工期を当初の8年から12年に、総工費は当初の3500億円から9300億円に大幅に増えることを公表しました。このとおりに進んだとしても新基地の完成は2030年代以降になります。しかし防衛局の見通しで12年といってもこれは県知事の承認を得てからの年数ですが、知事は承認をしない方針で、そうなると裁判になることは必至でさらに年数がかかります。

工費にしても、大浦湾の軟弱地盤工事は技術的にも困難で、前例のない難工事であり、工費がさらにかさむことは目に見えています。沖縄県はかねてから工期は13年、総工費は2兆6500億円との試算を示しており、政府の見通しはまだまだ甘いといえます。



【安和棧橋での抗議行動】

警備費だけで 1700 億円

総工費 9300 億円のうち、警備費は 1700 億円。2015 年から 17 年度までの支出済み額は 166 億円。工事が政府の予定通り 12 年で終わるとすると平均すると今後 1 年間で約 128 億円、1 日あたり約 3500 万円となり、警備費が 60 億円だった 16 年度の倍以上になる計算です。警備費の増加についてその理由、内訳を防衛局は明らかにしませんが、過去には業者への過大支払いを会計検査院に指摘されたこともあり、明らかにすべきです。

この他に県警機動隊や海上保安庁、毎日 100 人ほど動員の人件費・経費を考慮すると警備費だけでも莫大な血税が使われていることとなります。

また米軍北部訓練場でのヘリパッド建設は「完了」しましたが、今なお関連工事が続いており、警備員も配置しています。工事着工の 16 年から今年 2 月までの期間で 112 億円、1 日あたり 820 万円にのぼります。

このような警備をしないとできない、市民の意志を無視した公共工事自体が問題に

されるべきです。



【安和棧橋護岸からカヌーチームを応援】

いつまで続くのか

米軍基地からの有毒の有機フッ素化合物 PFAS の漏出、それを含んだ水道水を飲まされる地域住民、米軍機の墜落や部品落下事故、実弾や照明弾の民間地落下、米軍機の飛行や実弾射撃訓練、廃弾処理による騒音、米軍人・軍属による凶悪な事件事故、新基地建設に伴う自然破壊、工事に関する重要な事項の隠蔽や承認なしの変更、深刻な技術的問題、米軍や自衛隊、国際的基準にも満たない設計、関係委員への公正さを疑わせる寄付、抗議する市民への弾圧。こうした民主主義の破壊が「いつまで続くのか」と悲観的になってしまいますが、勝つまではあきらめるわけにはいきません。

「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であつて、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。」

日本国憲法第 97 条

刑特法違反容疑での逮捕について

共同代表 大畑 豊

昨年 12 月 21 日、米軍北部訓練場に正当な理由なく立ち入ったとして、刑事特別法第 2 条違反の容疑で他の 5 人とともに私は逮捕され、12 月 30 日に釈放されました。多くの方々からご支援あるいは激励のお言葉もいただき、感謝申し上げます。

新聞報道だけでは事件の概要がよくわからないとの声もお寄せいただいています。現在は、まだ処分保留の状態であり、捜査・取り調べも続いておりますので、皆さんにご報告できる内容には限度もあり、ここでは事件の起こった状況、背景について説明させていただきたいと思います。

北部訓練場とは

沖縄県国頭村と東村にまたがる米軍北部訓練場にオスプレイの離発着帯（ヘリパッド）が 2016 年に「完成」し、広大な訓練場の約半分が返還されました。このヘリパッド工事も、辺野古新基地同様、多くの違反、違法性や工事の杜撰さが指摘されていました。そして沖縄の水瓶でもある貴重な森林、自然が破壊されると、県民は反対。大規模な抗議、阻止行動も取り組まれましたが、県外から 500 人、県内 500 人、計 1000 人も機動隊が動員され、市民を排除して工事が行なわれました。ヘリパッド完成以降も訓練場内の関連工事が進められており、こうした

工事を監視するために市民らは不定期的に訓練場内に入り、自然破壊の状況や工事の杜撰さや違法性を指摘してきました。今回は北部訓練場内に正当な理由なく立ち入った、ということでの逮捕でしたが、これまでのそうした市民らの行動で逮捕されたことはなく、また当初工事が始まった頃は、多くの市民らが訓練場内の工事現場まで行き、抗議・阻止行動を展開していましたし、報道もされていました。訓練場内の抗議現場には機動隊もいましたが、米軍基地内ではもちろん何の権限もありません。では訓練場内から出てきた市民を待ち構えていて逮捕したかといえば、そんなこともありませんでした。

刑特法はグレーな法律

また識者は刑特法自体、憲法違反の疑いの強い法律であり、さらに刑特法 2 条を北部訓練場に適用するのは無理があると指摘しています。（米軍）基地、訓練場という頑丈なフェンスに囲まれているというイメージがあると思いますが、北部訓練場は森のなかにあり、ゲート付近にはフェンスがあるものの、ほとんどはフェンスがありません。周囲の森と一体化しており、どこからが訓練場なのか境界がはっきりしていません。普通に森を散策していつのまにか訓練場内に入ってしまうということも当然あり得ます。刑特法を適用するにはその境界を明確にする米軍の法的義務がありますが、そうしたことが北部訓練場にはなされていないのです。

勾留理由開示を巡る問題

また今回検事は、身柄を拘束しての取り調べが必要と勾留請求をしましたが、那覇簡裁はその請求を認めませんでした。しかし検事が準抗告し、那覇地裁が10日間の勾留を認めてしまいました。それに対し弁護団は、その勾留を認めた理由を公開の法廷での説明を求める勾留理由開示請求をしました。本来は請求があったから5日以内にその法廷を開かないといけません、勾留される期限が1月1日までなのに、なぜか請求から10日後の1月6日以降に開催する、と連絡をしてきました。これは今後検察から勾留延長請求があり、しかもそれを裁判所が認めることを前提としたものであり、憲法違反、法律違反の「恐ろしい判断だ」と弁護団は厳しく批判、のちに沖縄弁護士会も抗議する会長声明を出しました(2020年1月8日、沖縄弁護士会HPに掲載)。新聞にも大きく報道されたせいか、突然12月30日朝に釈放されました。釈放後、私に対しては警察・検察からの呼び出し等はありませんが、家宅捜査で押収されたものの一部がいまだに返還されておらず、弁護団を通し返還の申し入れをしているところです。

今後の経過

今回の件がどう処分されるかはまったく予断を許しません。不起訴、略式起訴の罰金刑、起訴とどれもありません。またそうした処分がなされず処分保留の状態がしばらく続くことも考えられます。

今回の釈放には、被疑者同士の接触禁止等の条件がついていませんので、普段の行動に何の制限もありませんが、私の押収物のうち、携帯電話やパソコンが戻ってきてないのでそうした不便さはあります。普段の活動にも徐々に戻っていますが、(再逮捕されないよう)慎重に行動するよう助言されております。皆様にはご心配をおかけしておりますが、今後ともご支援のほど、よろしくお願い致します。

19.12.22 OT

北部訓練場侵入疑い 名護署 刑特法違反6人逮捕

名護署は21日、国頭村の米海兵隊北部訓練場に正当な理由なく侵入したとして、30〜70代とみられる男女6人を刑事特別法違反容疑で現行犯逮捕した。6人は黙秘しており、県警が動機や経緯を調べている。名護署によると、21日午前10時半ごろ、基地関係者から「複数の侵入者がいる」と110番通報があった。現場に着いた署員が、訓練場のN1地区ゲートを開けて中から出てきた男女4人、女2人を現行犯逮捕した。県外在住者も含まれているとみられる。現場周辺には逮捕者以外にも複数人いたという。また、国頭地区消防本部によると、同日午前10時22分、現場付近にいた男性から「60代男性が手から出血している」と119番通報があり、三重県(61)を本島北部の病院に搬送した。同署は、この男性と搬送時に同行した男性の計2人も、グループのメンバーだった可能性があるとして調べている。

19.12.31 OT

那覇地検、6人釈放 刑特法違反容疑で勾留

那覇地検は30日、米軍北部訓練場に正当な理由なく侵入したとして刑事特別法違反容疑で21日に逮捕された男女6人を釈放した。一部の勾留を巡っては、那覇地裁が理由の開示手続きを勾留期限後の1月6日に指定していたため、男性1人の弁護を担当する中村昌樹弁護士が「身体拘束の重大性を全く理解していない」と批判していた。



Nonviolent Peaceforce

非暴力平和隊の理念と活動に賛同・支援して下さる個人および団体を会員として募集しています。入会のお申込みは、郵便振替、銀行振込、非暴力平和隊・日本のウェブサイトの入会申込ページをご利用くださいますようお願いいたします。

◎ **正会員（議決権あり）**

- ・ 一般個人：10,000円
- ・ 学生個人：3000円

* 団体は正会員にはなれません。

◎ **賛助会員（議決権なし）**

- ・ 一般個人：5000円（1口）
- ・ 学生個人：2000円（1口）

・ 団体：10,000円（1口）

■ **郵便振替**：00110-0-462182 加入者名：NPJ

* 通信欄に会員の種類を（賛助会員の場合は口数も）ご明記ください。

■ **銀行振込**：三井住友銀行 白山支店 普通 6622651 口座名義：NPJ代表 大畑豊

* 銀行振込をご利用の場合は、お手数ですが電話・ファックス・メールのいずれかを通じて入会希望の旨、NPJ事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

■ **ウェブサイトからのお申込み**：http://np-japan.org/4_todo/todo.htm#member

非暴力平和隊・日本の皆様 **NPJ 理事会・総会開催のご案内**

下記の通り理事会並びに総会を開催いたします。同封の返信ハガキで出欠ご連絡ください（メールで通知者を除く）。

.....

- ・日 時：2020年3月28日（土曜日）14:00～16:00 理事会/総会
- ・場 所：京都 阿咩社（詳細末尾）
- ・理事会・総会議題：1.NPJ 会員現況 2.NPJ 財政の近況 3. 2019年度の活動報告並びに決算見込 4. 2020年度事業計画並びに予算案 5.その他

.....

阿咩社アクセス：住所：京都市上京区衣棚通上御霊前下ル上木ノ下町 73-9

電話：075(414)8951 ウェブサイト：<http://aunsha.co.jp/>

京都市営地下鉄烏丸線・鞍馬口駅下車（1番出口）から南に下がったビデオ近畿ビルに渡り、さらに西に行く。南ゆき一方通行を南に行くつと駐車場が左手にあります。右側の路地に入ってください。

冬季カンパありがとうございます。今回、カンパを頂いた方々のリストの記載は間に合いませんでした。

次号（5月末）に掲載いたします。